

なぜなに やまもり

山や森についてもっと知ろう!

主伐後の再造林について

植え付けから概ね50年以上経過し、十分に成長したスギ等の森林をまとまった面積で伐採することを「主伐」と呼びます。また、その後、同じ場所に再び苗木を植え付けることを「再造林」と呼びます。

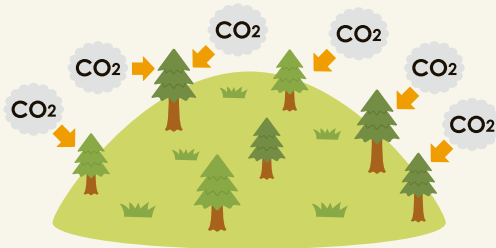
1 十分に成長したスギ等の森林は、収穫を目的に主伐を行います。収穫された木は、丸太や板、チップ等に加工され、私たちの身の回りの様々な物に活用されています。



2 主伐後の山は、一面森林が無い状態になります。そのまま放置し自然の力で森林が再生しない場合、土砂流出等の危険性が高まります。



3 主伐後に再造林を行い、早期に森林を再生させることで、木の根が土砂を抑える働きをし、土砂流出防止に繋がります。また、木が成長する時には、二酸化炭素を吸収するため、地球温暖化対策としても期待できます。さらに、私たちの子孫に対して、森林資源を残すことにもなります。



4 山形県では、再造林経費の支援等、様々な取組みを行っています。森林を伐採した後にそのまま放置されないことがないように、森林所有者等の皆様に再造林の重要性について理解して頂くことが重要になっていきます。



主伐後はそのまま放置せず、積極的に再造林を行いましょう!

企業だって 森づくり♪

一般財団法人田川建設会館 編



一般財団法人田川建設会館
常任理事 佐藤 良一さん(左)
事務長 佐藤 真さん(右)

Q 一般財団法人田川建設会館さんはどんな団体ですか?

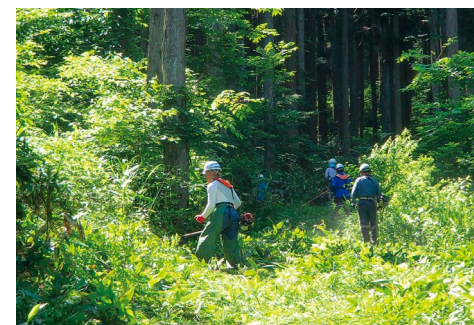
鶴岡・田川地区の建設業の健全な発展と社会貢献に資するために設立した法人で、山形県建設業協会鶴岡支部の会員で構成し、運営しています。構成員が建設業協会ですので、やはり公共工事や住宅建築を担当する建設系の会社が多いです。

Q 協定森林の名称「神の宿る森はぐる」の由来について教えてください!

私たちが活動している場所は、出羽三山神社や五重塔で有名な羽黒山の麓に位置しております。そんな神聖な場所ですので、神様からの恩恵にあずかっている森林ということで「神の宿る森はぐる」と名付けました。

Q 活動を始めたきっかけは何でしょうか?

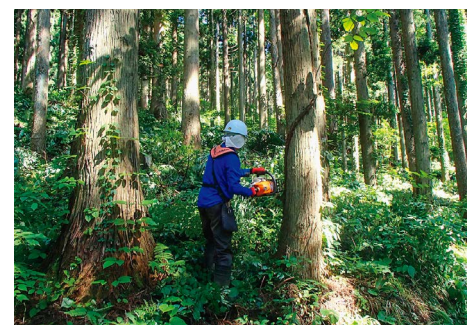
私は以前、個人的に森の整備に携わっていたのですが、その際に我々建設業界で地元の木材を地元で使うという地産地消がなかなか進んでいないということを感じ、何とかしたいと思っていました。そんな状況で鶴岡市が森林文化都市構想を掲げて木材の地産地消を推進し始めました。このことも後押しとなり、地元の森林組合と一緒に我々も森林整備と木材の地産地消の一助を担おうと意気込み、平成23年にやまがた絆の森に参画しました。活動を始めて14年目になります。



下刈りの様子

Q 活動内容を教えてください!

絆の森の活動では、地域の森林の保全を目指し、地元羽黒地区の手向生産森林組合さんと協力して下刈りや間伐作業を行っています。会員は普段の仕事でも、下刈りや枝打ちをする機会が多いので作業自体はお手物ですが、森林整備を通じて地域に貢献するという意識をもって活動するのも新鮮でいいと感じています。



間伐の様子

Q 森づくり活動での目標はなんですか?

木を育てるといえるのは時間がかかることなので成果が見えるのはいつ

になるかはまだわかりませんが、私達の活動で育てた木材が地域の住宅作りに使われて、地産地消に貢献できればいいなと思っています。

Q 今後目指すところは!

絆の森の活動は、地域の森林整備を通じて環境保全と社会貢献を実現する取り組みだと考えています。これからも多くの企業や地域の方々と協力しながら、豊かな森を守り育て続けていくことを目指したいと思えます。そして、将来的には、地域の建物には地域材を使用することが当たり前の中になつていくと良いなと思います。



集合写真

★やまがた絆の森づくり推進事業★
企業等、森林所有者、県との三者協定による森づくり活動。
令和6年4月現在、38企業・団体、36地区で活動を展開中。